

平成27年度 行政評価 施策カルテ

施策名	2 生物多様性の保全
-----	------------

施策主管課	環境保全課	総合計画記載頁	127ページ
-------	-------	---------	--------

1 施策の位置付け

政策の柱	Ⅲ 市民の快適な暮らしを支えるために	政策名 (基本施策名)	14 良好な水と緑の環境を創出する	政策の達成目標 (基本施策目標)	市民が身近に自然と親しめる良好な水と緑の環境が創出され、自然との共生が深まっています。
------	--------------------	----------------	-------------------	---------------------	---

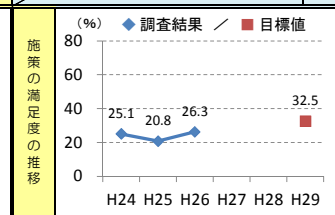
2 施策の取組状況

施策目標	人と自然との共生により、豊かな生物多様性が守られています。
------	-------------------------------

① 施策指標	指標名(単位)		H24	H25	H26	H27	H28	H29 (目標年)	評価	② 市民意識調査結果	指標名(単位)		H24 (現状値)	H25	H26	H27	H28	H29	評価	
	指標1	生物多様性保全の意識を持った自然ふれあい活動の体験者数(人)	単年度目標値	-	1,200	2,400	3,600	4,800	6,000		B	指標2	施策の満足度(%)	調査結果	25.1%	20.8%	26.3%			
現状値			- 人	実績値	-	472	1,997													
目標値(H29)			6,000人	単年度の達成度	-	39.33%	83.21%													
③ 主要な構成事業の進捗状況 (主要な構成事業の個別の進捗状況は、「3 施策を構成する事業の状況」を参照)										B										
① 施策指標	指標名(単位)	単年度目標値							B	② 市民意識調査結果	指標名(単位)	H24	H25	H26	H27	H28	H29	評価		
		現状値																		
	目標値(H29)																			
	単年度目標値																			
	現状値																			
	目標値(H29)																			

※『①施策指標』の単年度の達成度の計算について

★ 増進型の指標(目標値が基準値より増加することが望ましいもの)	実績値 目標値	× 100 (%)
★ 減進型の指標(目標値が基準値より減少することが望ましいもの)	目標値 実績値	× 100 (%)



① 施策指標	A: 達成度90%超 [33点]	B: 達成度70%~90% [25点]	C: 達成度70%未満 [15点]
② 市民意識調査結果(満足度)	A: 前年度より向上 (+5pt超) [33点]	B: 前年度同水準 (±5pt以内) [25点]	C: 前年度より低下 (-5pt超) [15点]
③ 主要な構成事業の進捗状況	A: 計画以上 (主要な構成事業の2割超が計画以上) [33点]	B: 計画どおり (主要な構成事業の8割以上が計画どおり) [25点]	C: 計画より遅れ (主要な構成事業の2割超が計画より遅れ) [15点]
総合評価	順調:(A評価が2つ以上(C評価がある場合を除く。)) [90点以上]		
	概ね順調:(主にB評価が2つ以上) [65点以上90点未満]		
	やや遅れている: (C評価が2つ以上) [65点未満]		

取組内容と成果・成果の要因、進捗の状況			
---------------------	--	--	--

施策を取り巻く環境等	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成22年10月の生物多様性条約第10回締約国会議において、新たな世界目標である愛知目標が決定されたことなどから、平成24年9月に生物多様性国家戦略2012-2020が策定された。</li> <li>平成24年9月に新たな国家戦略が策定されたことを受け、平成26年3月に生物多様性地域戦略策定の手引きが改定された。</li> </ul>		83点
施策指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成26年度はパネル展示や環境学習センターが実施した環境学習講座などにおいて、生物多様性保全の重要性をPRした。また、市が実施している自然ふれあい活動やイベント等において生物多様性の周知啓発に取り組み、前年度と比較し、達成度の改善に繋がった。</li> <li>総合計画の改定に伴い、平成25年度から施策指標を「主要河川の水質調査における環境基準(BOD)の達成率」からより適切な指標である「生物多様性保全の意識を持った自然ふれあい活動の体験者数」に変更した。</li> </ul>	市民満足度	概ね順調
	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成26年度には、引き続きパネル展示及びパンフレット配布をおこなうとともに、「うつのみやの生物多様性周知啓発の基本的な考え方」を作成し、その考え方を踏まえ、市が実施しているイベント等においても生物多様性の周知啓発に取り組んできたことで、平成26年度市民意識調査における満足度の上昇に繋がったと考えられる。</li> </ul>		

3 施策を構成する事業の状況

※凡例 ○:「総合計画の戦略プロジェクト・主要事業」対象、★:「③ 主要な構成事業の進捗状況」対象(最大5事業選択)

No.	事業名	戦略P・ 主要事業 ※	事業が属する総合計画の 構成事業名	事業内容		事業の 進捗状況	H26 事業費 (千円)	開始年度	日本一 施策 事業	施策目標を達成するための取組方針
				対象者・物(誰・何に)	取組(何を)					
1	自然環境アドバイザー会議	★	・アドバイザー制度を活用した生物多様性保護、保全対策の推進	市(公共事業)	・本市公共事業における生物多様性への配慮	計画どおり	131	H10		開発による生物多様性への負荷低減のため、自然環境アドバイザー会議の意見を反映し、引き続き本市公共事業に係る生物多様性の保全を図っていく。
2	生物多様性保全の推進	○★	・生物多様性の保全啓発事業の推進 ・大気・水環境保全に係る啓発事業の推進 ・生物多様性に関する調査の有効活用 ・公共用水域における水質保全の推進	市民・事業者等	・生物多様性に関する市民理解の促進 ・生物多様性の保全と持続可能な利用に関する行動・配慮の促進	計画どおり	100	H23		自然共生型社会の実現のため、市民一人ひとりの意識の醸成と生物多様性に配慮した持続可能な事業活動を促進するとともに、市民の自然環境保全意識の醸成を図るため、周知啓発などの取組を推進していく。 平成27年度に、本市の現状や特性を踏まえた「生物多様性地域戦略」を策定する。

4 今後の施策の取組方針

今後の方向性	
<p>課題</p> <p>◆生物多様性保全の推進については、本市の豊かな生物多様性を市民共有の財産として保全し、後世に継承していくことが責務であることから、生物多様性保全に関する基本理念や目標を明確にし、多様な主体による取組を計画的かつ効果的に推進していく必要がある。</p> <p>◆平成26年度に実施した市政に関する世論調査によると、生物多様性について「言葉の意味を知っている」割合が17.9%であることから、生物多様性の保全を進めるにあたっては、その趣旨や重要性を市民に理解してもらう機会を増加させる必要がある。</p>	<p>方向性</p> <p>〈施策全般〉 ◆生物多様性を将来にわたって保全していくためには、市民等の理解や行動が必要であることから、「生物多様性保全」の認知度向上及び意識の醸成を図るため、自然とのふれあいの場の提供など生物多様性保全に関する施策・事業を推進していくとともに、人と自然が共生していくための目指すべき方向性を示す「生物多様性地域戦略」を策定する。</p> <p>〈主要事業〉 ◆生物多様性保全の推進 ・本市の自然環境の特性やまちづくりの方向性を踏まえた生物多様性保全に関する基本理念や目標を示し、多様な主体による、さらなる取組の推進を図るために、「(仮称)宇都宮市生物多様性地域戦略」を策定する。 ・多くの市民が生物多様性について正しく理解し、生物多様性保全に関する意識を高めるため、「うつのみやの生物多様性周知啓発に関する基本的な考え方」に基づき、従来のパネル展示やパンフレットの配布に加え、啓発用パンフレットのリニューアルや広報紙への特集記事掲載など、生物多様性の保全に関する意識の醸成を推進する。</p> <p>◆自然環境アドバイザー会議 ・引き続き、開発等による自然環境への負荷軽減のため、自然環境の専門家の意見を反映し、本市の公共事業の実施にあたり、生物多様性の保全を図っていく。</p> <p>〈その他個別事業〉</p>